

# 住民が主役のまちづくりのルール 自治基本条例

連載 4



経営運営の理念や仕組みなどを定めるものです。つまり、総合計画の基本構想で描く村の将来像を、村民議会・行政が協力して実現していくためのルールが「自治基本条例」であり、そのルールに基づいて村の具体的な施策が定められていくことになるのです。例えば、車で旅行をする場合のカーナビが「総合計画」、交通ルールが「自治基本条例」とも考えられます。

「東海村自治基本条例策定委員会」(住民等19人が参加)により策定作業が進められている「自治基本条例」——シリーズ4回目となる今回は、「総合計画と自治基本条例は何が違うのか?」についてお話しします。

村では、1月15日(木)から昨年9月1日からの1か月間に皆さんから寄せられた自治基本条例(素案)に関するパブリックコメント(約260件)に対する「条例策定委員会」としての考え方と、それを基に策定した自治基本条例の素案を、東海村公式ホームページのほか、村立図書館や中央公民館、各コミュニティセンターの窓口にも備え、公開を予定しています。皆さん、ぜひご覧になってみてください。

「総合計画は、まちづくりの基本的な方向性を定めることや、議会の議決を経るといった観点では、共通したものであるといえます。しかし、「総合計画」は、村の最上位の計画として、福祉、教育、環境、農業、都市計画などといった各分野における政策の基本方針や目標、それを実現するための施策の方向を定めるものです。

一方、「自治基本条例」は、村の高規範として、自治の基本原則、村民議会・行政それぞれの役割、意見公募手続き(パブリックコメント)や情報公開、住民参加などの村政

「総合計画」は、まちづくりの基本的な方向性を定めることや、議会の議決を経るといった観点では、共通したものであるといえます。しかし、「総合計画」は、村の最上位の計画として、福祉、教育、環境、農業、都市計画などといった各分野における政策の基本方針や目標、それを実現するための施策の方向を定めるものです。

## まちづくりアンケート調査へのご協力ありがとうございました

村では、平成20年12月3日の第1回「東海村総合計画審議会」を皮切りに、平成23年度から向こう10年間の新たな計画となる「東海村第5次総合計画」の策定を開始しました。

この総合計画の策定に当たり、昨年12月にお願ひした「東海村まちづくりアンケート」は、住民の皆さんのさまざまな生活ニーズや、まちづくりに対する考え方などを把握するため、必要な調査をさせていただいたものです。ご回答いただいた皆さん、調査へのご協力ありがとうございました。

なお、アンケート用紙をまだ返送していない場合は、回答期限を過ぎても受け付けますので、お早めのご回答にご協力をお願いします。



■調査対象 平成20年11月末現在で村内在住の男女各750人ずつ(無作為抽出・無記名方式)

■回答期限 1月10日(土)

■問合せ 企画政策部政策推進課政策推進担当(☎282-1711 内線1332)

## 傍聴席

平成20年第4回東海村議会定例会が12月1日から15日までの会期で行われました。その主な内容は次のとおりで、会期中の傍聴者は85人でした。

### 村長提出議案

条例改正案、東海村医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する(医療費助成対象年齢を中学校卒業までとする)条例ほか5件、補正予算関係8件、指定管理者の指定(東海村総合福祉センター「絆」)についてほか6件の合計21件が上程され、すべて可決されました。

### 請願

①「ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願」は不採択となりました。②「燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願」は採択されました。③「教育予算の拡充を求める請願」は採択されました。

### 議会提出議案

議員提出議案の「地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書」と「中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書」、委員会提出議案の採択された請願②・③に対する意見書2件の計4件は可決され、国の関係機関に提出しました。

### 問合せ

議会事務局(☎282-1711 内線1281) ※議会ホームページ(<http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/gikai/>)では、第4回定例会の審議が映像(録画)でご覧になれます。